

2016-17 年度夏期コースにおける多読の試み

結 城 佐 織

【要旨】

近年、多読を取り入れる日本語教育機関が増えてきている。アメリカ・カナダ大学連合日本研究センターの2016-17年度夏期コースの夏鳥クラスにおいても多読を行った。週一回30-50分、教材は『にほんご多読ボックス』、『レベル別日本語多読ライブラリー』を用意した。多読の方法はおおむね栗野他(2012: 15-20)に従っている。

本稿では学生の様子、読書記録、アンケート調査を報告する。大学生・大学院生であってもレベル0(入門)の内容を楽しめること、短くはあるが感想の書き方を「日本語言及型」、「内容説明型」、「内容言及型」という3つに類型でき、類型は日本語の学習傾向や伸びに関連があることについて言及する。

【キーワード】

読書方法、推測、大学生・大学院生、感想の類型と日本語力

1 多読とは

アメリカの大学では多量の課題図書や論文を読まなければならない、ということは知られている。彼らが課題図書のために行う読書方法は、多量の資料から情報を見つけ出す速読、パラグラフ・リーディングなど、論文や評論などから情報を速く得ること¹を目的とするものであり、これは研究者や実務家には必要な読解能力である。

しかしながら、初中級・中級前半の大学生・大学院生であっても、語学力を伸ばすという点では同じ種類の文章を多量に速く読むだけではなく、さまざまな種類の内容や文体に触れる必要がある。そこで本実践では授業に多読を取り入れた。多読とは「文字通りたくさん読むことです。でも、従来の読解や訳読のように、辞書を引きながら難しい外国語の文章をたくさん読むのではありません。ごくやさしく短い文の本からはじめて、わからない言葉が出てきても気にせずに、ぐいぐい読み進めていきます。すると少しずつ言葉の背景や語や文法が獲得され、遅かれ早かれむずかしく長い本も気持ちよく読めるようになります」²という読書方法である。

多読は英語教育の中で広く取り入れられてきたが(水野他2011)、近年東京大学(片山2015)、筑波大学留学生センター(鄭他2014)、国際基督教大学日本語教育研究センター(松井他2012)、秋田大学(佐々木2017)などの日本語教育機関でも取り入れられている。これは語学教育での多読の効果を示していると言えるだろう。

2 実施内容

アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター（以下、IUC）の2016-17年度夏期コースにおいて多読を授業に取り入れた³。2016年のミドルベリー夏期日本語学校で行われていた多読クラブに関わり⁴、さまざまな日本語の文章・文体に触れる必要があるのではないかという思いに至り、2016-17年度夏期コース夏鳥クラスにおいて多読を行った。

多読の実践方法は様々あるが、本実践では、「1冊を速く読み終え、直ぐ次の本に移る」という考え方ではなく、『にほんご多読ボックス』、『レベル別日本語多読ライブラリー』の考え方や方法を基本的に踏襲している。また、下記に栗野他（2012: 15-20）と松井他（2012: 49）を参考にした学生への指示5点を挙げた。

学生への指示5点

1. やさしいレベルから読む
2. 辞書を引かないで読む（メモをとって授業後に辞書を引いても良い）
3. わからないところは飛ばして読む
4. 難しかったり、おもしろくなかったりしたら、他の本を読む
5. 一冊読み終わったら、読書記録に感想を記入する（資料1参照）

学生が多読を行っている間、教師は机間巡視、学生の様子を観察、質問への対応、読書記録の記入方法の指導などを行っている。佐々木（2017: 40）のように学生間のブックトーク⁵の時間を確保してはいないが、読後に感想を言おうとする学生がいたので、その際は学生同士の一言二言程度の意見交換を許可し、筆者が個別に感想を聞く時間を設けた。

実施時間等は以下のとおりである。

学生の人数：7名

学生の日本語のレベル：初中級、中級前半

学生の学歴：大学卒業、修士課程修了、博士課程在籍中

期間：2018年6月28日～8月2日

時間：30-50分×週1回×6週（計6回）

教材：『にほんご多読ボックス』⁶、『レベル別日本語多読ライブラリー』⁷

*但し、音声教材は利用していない。

授業時間は50分の予定であったが、進度の都合上、1回目は30分、2、3回目は35分、4回目は40分、5、6回目は50分となった。

3 学生の様子

多読における教師の役割として、栗野他 (2012: 22-23) では、①教えない、②支援者に徹する、③一人一人を見つめること、の3点を挙げている。本実践でもこの①から③に従い、学生が多読を行っている間、筆者はメモを取った。以下にその内容を記載する。

1回目：30分

【辞書】

- ・辞書を引こうとする学生が多数いた。
- ・辞書は引かずに、絵や文脈から意味を類推するようにと強調した。ただし、気になる場合はメモをし、後で調べることを許可した。

【様子】

- ・早く続きを読みたい。他の時間に読んでもいいか、と言った学生がいる。
- ・基本的には話さない。
- ・速く読もうとする学生がいる。

2回目：35分

【辞書】

- ・辞書を引こうとする学生がいる。

【様子】

- ・楽しんでる学生が多い。途中で笑っている。
- ・地味に読んでる学生と、反応しながら読む学生がいる。
- ・クラスメート同士で「その本はいい」など、お勧めの本などを紹介しあっていた。
- ・真剣に読む学生や、進むのが遅い学生がいる。
- ・速読ではないので、速く読めればいいというものではないということを再度確認した。

【感想文】

- ・感想を書く時の日本語について聞かれる。
- ・感想が適当な学生がいる。

3回目：35分

【辞書】

- ・辞書を引かずに読む、ということに慣れてきた様子だ。

【様子】

- ・テストの後で疲れ気味のように見られる。
- ・ある学生がにやけながら読んでいる。

- ・ある学生が「シンデレラ」を読み始め、「あ～、これか～」というような表情をしている。
- ・表紙や裏紙をじっくり見る学生がいる。

【レベル】

- ・レベル2に行く人が出てきた。
- ・レベル2になると、眉間にしわが寄る学生がいる。
- ・レベル0、レベル1が終わっていないが、他の学生が読んでいるため冊子がなく、レベル2に進む学生がいる。
- ・日本語のレベルが同じ程度であるため、読書速度も同じ程度である。

【感想文】

- ・読解速度を携帯電話のタイマーで測っている学生がいる。

【筆者感想】

- ・読書記録はレベル別にしておいたほうが、既読・未読の区別がわかりやすいだろう。

4回目：40分

【辞書】

- ・単語をメモする人が少なくなってきた。辞書を引かないということに慣れてきたようだ。

【様子】

- ・連休明けで疲れている学生が多い。眠そうな学生が多い。
- ・全体をパラパラとみてから読み始める人が増えてきた。
- ・真剣に読んでいる。
- ・「二人の恋人」という題名に学生二人が大爆笑していた。
- ・ある学生が「ロボ太」でかなり笑っている。
- ・眉間にしわが寄っている学生がいる。
- ・読む速さにばらつきが出てきた。速く読めばいいというものではないと再度言う。

【レベル】

- ・レベル0、レベル1が終わってなくても、レベル2に進もうとする学生がいる。
- ・レベル2になってから真剣に読む学生が増えてきた。
- ・レベル2はちょうどいいという声があった。

5回目：50分

【冊子】この日からレベル3も準備。

【様子】

- ・静かなので息遣いの荒い学生や、良く動く学生の音が気になる。
- ・真剣に読んでいる。

- ・「屁っこき嫁」で、ある学生が笑う。

【レベル】

- ・レベル2に入る学生が多くなってきた。ただ、レベル0、レベル1の数冊を飛ばしている学生もいる。
- ・レベル2は5冊しかなく、レベル3を読む学生もいる。

【感想】

- ・感想を書くのに、辞書を引く学生がいる。

【筆者感想】

- ・読んだ時間を記録すべきかどうかは、今後の課題である。

6回目：50分

【様子】

- ・皆、真剣である。
- ・他のクラスの声も気になるが、集中している。
- ・ある学生が笑っていた。
- ・ある学生が「注文の多い料理店」で、うすら笑いをしている。
- ・ある学生が、「むじな」で涙をこらえている様子だ。
- ・いろいろな姿勢で読む人が増えてきた。
- ・読み終わるタイミングが同じになると、本の情報交換をしている。

以上6回のメモから、1、2回まではわからない語彙が出てきた場合は、辞書を引けないことに苦心していたが、3回目以降は辞書を引かずに意味を推測しようとする習慣が身についてきていることがわかる。鄭他(2014:19)は、中級前半レベルの上位学習者は類推的読み方を行い、下位レベルの学習者は、文章を逐次語的読み方をしていると指摘している。本学習者7名のうち、1-2回までは逐次的読み方から脱することのできない学習者も2名見られた。

3回目までは、授業中であるということも意識しているせいか、良い姿勢でまじめに、静かに読んでいたが、回数が進むにつれ、リラックスした姿勢で読む学生が増えてきた。これは読むことに集中しているあらわれであろう。また、回数を重ねるごとに読んでいる際の学生の表情が豊かになっていった。

多読は「やさしいレベルから読む」という規則があるため、本実践でもレベル0(入門)から読ませたが、日本語が易しすぎる、自分のレベルではないと考え速く読もうとする学生が1名いた。この学生は初中級レベルであったが、誰よりも先に進むことをよしとしていた様子が見受けられたので、「速く読むことは目的ではなく、評価にもならない。他人と読む速さを競争するものでもない。多読は辞書を見ないで、考えながら楽しんで読むこ

とが目的だ」と数回多読の目的を説明した。他の学生は日本語のレベルや他人の速度を気にすることなく、多読の時間を楽しんでいたようだ。

4 学生の読書記録

学生の読書記録は、栗野他 (2008: 47) にほぼ同じであるが、「むずかしさ」という項目を「どこまで」という項目に変更してある(資料1参照)。これは、多読の基本である「やさしいものから読む」という規則に従ってレベル0から読ませることにしたため、初中級・中級前半レベルの学生には簡単であると考えたからである。

以下に学生の読書記録を表1から表4にまとめた。学生により選択した本が異なるため、読者数を記した。また、学生が途中で読むのをやめた本に関しては、本稿では数に入っていない。全レベルの時間の平均は11.6分、面白さの平均は3.6/5点である。

①時間と面白さ

表1 レベル0 (入門)

冊	書籍名	読者数 /7人	時間 (分)	面白さ /5点
vol. 7-1	私はだれでしょう？	7	5.6	3.9
vol. 7-2	おもしろい！日本のトイレ	5	6.3	4.0
vol. 7-3	きょうだい 一明と由香の一年	6	8.0	4.0
vol. 7-4	ニホンザル	7	7.3	3.3
vol. 8-1	キツネとカラス・ネズミの相談	6	7.0	3.7
vol. 8-2	ロボットD太ー「はじめまして」「いただきます」	7	7.0	3.3
	平均	6.3人	6.9分	3.7点

表2 レベル1 (初級前半)

冊	書籍名	読者数 /7人	時間 (分)	面白さ /5点
vol. 7-5	日本の行事	6	10.0	3.7
vol. 8-3	ロボットD太ー「日記」	3	9.3	3.8
vol. 8-4	南の島のタクシー	6	9.0	3.7
vol. 8-5	みにくいアヒルの子	6	11.3	3.8
vol. 8-6	どうして蚊は人の血を吸う？	7	9.2	4.1
	平均	5.6人	9.8分	3.8点

表3 レベル2 (初級後半)

冊	書籍名	読者数 /7人	時間 (分)	面白さ /5点
vol. 2-1	悪魔の散歩	5	16.0	4.0
vol. 2-2	ジャックと豆の木	5	20.6	3.4
vol. 2-3	シンデレラ	4	17.5	3.3
vol. 2-4	二人の恋人 他2話	6	16.3	3.3
vol. 2-5	ヘンゼルとグレーテル	3	17.0	3.7
vol. 2-6	老人の町	6	16.7	4.4
vol. 2-7	屁っこき嫁	4	15.3	3.8
平均		4.7人	17.0分	3.7点

表4 レベル3 (初中級)

冊	書籍名	読者数 /7人	時間 (分)	面白さ /5点
vol. 3-1	よだかの星	1	15.0	2.0
vol. 3-2	梨とり兄弟	2	20.0	3.0
vol. 3-5	大男の話	1	15.0	3.0
vol. 3-7	五兵衛と津波	1	15.0	5.0
Vol. 1	小泉八雲の怖い話／むじな／幽霊滝	1	20.0	3.0
Vol. 1	注文の多い料理店	1	25.0	3.2
平均		1.1人	17.9分	3.2点

まず時間に関してだが、教材のレベルが上がるにつれて時間もかかるようになっている。これは日本語の難易度も上がり、文字数も増えるためである。レベル2からレベル3への時間の移行に関しては、レベル3の読者数は1-2人となっており、全体読書時間の平均とは単純に比較できないが、レベル3を読んだ学生は、レベル2までの読書時間より長くなっている。

注目すべき点は「面白さ」の項目である。レベル0 (3.7/5点)、レベル1 (3.8/5点)、レベル2 (3.7/5点) においては、平均点はさほど変わらないが、レベル3では3.2/5点と下がる。レベル3になると読者数が1-2人になるので一概には言えないが、日本語のレベルも上がり、話の内容も単純ではなくなるので面白さの評価が下がっていると考えられる。逆に言えば、大学生・大学院生の学習者であっても、レベル0の作品を十分に楽しめるとも言える。

②感想

以下に感想欄の記述を載せる。学生の日本語のレベルもわかるため、学生の感想に関しては、基本的に学生が記入したままを載せている。わかりにくい箇所については、筆者が解説を【 】内に記入している。学生を区別するために、A～Fのアルファベットを（ ）内に記入している。

【レベル0・入門】

・「私はだれでしょう？」

(A) 富士山やしんかんせんじどうはんばいきなどについて、適当な詞【数詞】を教えてください。(B) お金を食べることはちょっとわかりません。自動販売機はおもしろいそうです。(C) この本はおもしろいとおもった。だれかのゲームのようなほん。(D) たのしかった。2つの物をせつめいした。じどうはんばいきとしんかんせん。(E) ままです【まあまあです】。(F) おもしろい。東京や、自動販売機、しんかんせんを見た。これは、日本の代表だね。(G) しんかんせん。

・「おもしろい！ 日本のトイレ」

(A) 「楽しいトイレいろいろ」というぎもんを考えるために、これの本を読みました。それ上【その上】に、話したトイレのところも伝えて、トイレを使いに行きましょう！(B) どうして、庭の中でトイレがあるか。(C) いろんなトイレがあります。たとえば好きなのががいこ【がっこう】のトイレです。(F) おもしろい。トイレで風がでるところを見たことがない。(G) 文化によって…。

・「きょうだい 一明と由香の一年」

(B) 福井県の所はきれいそうです。(C) きょうだいとにほんのせつめいをした。いなかのせいかつがいいですね。(D) Level0 だけどしらない言葉が多い。(E) 言葉がかんたんだが、日本の自然の写真とてもきれいだ。(G) かわいい。

・「ニホンザル」

(A) 「木の実や果物を食べます」というようなことがあります。OKです。P.12 おもしろいです。(B) 日本ザルはかわいいです。ザルはおんぜん【おんせん】に入るのは楽しそうです。(C) さるがすきなら、この本はおもしろい。(D) 日本のいろいろなサルについて(E) かわいくても、ちょっとかんたんです。(F) このサルはかわいい～。温泉にはいるのは、人間みたいな気持ちがあつ【ある】とおもう。(G) 日本でいろいろなきれいなザルにすんでいる。しまによって、ザルのタイプはちがう。

・「キツネとカラス・ネズミの相談」

(A) p.12-13 ですが、プレトは問題があると思います。(B) ネズミのものがたりの次の本を読みたい。(C) ふたつのものがたりがあります。どうぶつのもんだいがたいへんです。(D) ネコに鈴をつける相談するネズミだね。(E) 可笑しくてクラシックの話です。(F) 両方は短くて、最後はだめな終わりがある。(G) アンプの話

・「ロボットD太—「はじめまして」「いただきます」」

(A) 「かわいいそうです！」と考えて、画も楽しいでした。(B) ロボット D 太は気にサッカーボールをうつ時かっこいいそうです。(C) にほんのあいさつはおおいです。(D) ロボット D 太を紹介する本。

【レベル1・初中級前半・N5 レベル】

・「日本の行事」

(A) 「日本のいろいろなところで、お祭りがあります」と説明するためにこれの本は毎月の祭りを紹介しています。言葉やでんとうや特別な食べ物などについて話します。子ども向けな感じがあるけど、おもしろかったと思います。(B) 大晦日のそばを食べたいんです。お寺で鐘をつくことをみたいです。(C) べつのきゅう日についてのむずかしい言葉があります。(D) きれいな写真がありますが、たくさん複雑な単語もあります。(E) おもしろかったけど、違い方向に話した。たいへん。(G) さて...

・「ロボットD太 — 「日記」」

(B) 本当におもしろいと思った。この本はトラエモン【ドラえもん】みたい。(C) ゆうすけとロボットD太のにつきについてです。こどもはしゅくだいしたくないのと、しなければならぬのけいけん。(D) 男の子とロボットの話...かわいかった。(E) 楽しい。(G) ロボットと人間かんけいはとても面白いだ。

・「南の島のタクシー」

(A) おもしろくて、動詞の適当な使い方について教えている本だったと思います。小さい町に、おもしろい場合から、ものがたりです。つまり、よく【よい】おわりがあります。(C) しまのせいかつはおもしろいです。タクシーをなんでもつかうことができます。(D) タクシーがどこでも【どこにでも】行きました。(E) 笑! (F) おもしろくて、たくさん車に関して単語がある。終わり時にいいイメージがあった。(G) 光子さんの話は文化の別を表す。

・「みにくいアヒルの子」

(B) この物語はまずさびしくて、最ごのことはうれしいと思います。(C) もっとむずかしいほんをよみたいです。(D) アヒルの子は白鳥になった。(E) いい昔話だけど、子どものときも聞きました。(F) このみにくいアヒルはさびしかったなあ！でも、終わりはよかった。(G) この話は鳥のかんけいについて、子どもの話、でもまだおもしろかった。

・「どうして蚊は人の血を吸う？」

(A) この本は、もう一度とてもきれいな女の子があるが、彼女は病気です。そして、死にりました。でも、うれしい解決ではありません。(B) 話しはとてもかなしいです。あまり好きじゃない。(C) かなしいこいのものがたりですね。(D) 蚊の存在のせつめいた。おもしろい。(E) とても面白いベトナムの昔話です！(F) 初めはおもしろいと思った。でも終わりの近くに、話は早く終わりました。それは、ちょっとわかりにくい。(G) 悲しお話と思った。

【レベル2・初中級後半・N4 レベル】

・「悪魔の散歩」

(A) いろいろな怖くて大変な変化があった。悪魔について本。帽子の時、一番大好きなです。(D) あくまはぼうしになった... (E) おもしろいストーリーだ。あくまが下水道にいるか？(F) おもしろい！人々をおもしろいぼうしに文して【ふんして？】返事は面白かった。(G) あくまと人間をしらべる。おもしろかった。

・「ジャックと豆の木」

(B) ジャックは本当に悪い人と思います。(C) このむかしばなしいあまりかわえない【わからない】(F) 子どもの時に読んだことがあるから、ちょっとつまらない。(G) ケラス戦争の話。

・「シンデレラ」

(A) よく知っているストーリーですが、日本語でも楽しめます。ガラスの靴とは、英語で「GLASS SLIPPERS」という有名な【有名な】昔話の部分です。すると日本語で：「そして、いつまでも楽しく暮らしました」と書かれました。(B) この物語を読む前にも知っていましたので、早く話め【読め】ます。(C) しらないことばがあるけど、ぜんぶわかりました。(F) 読めました。おもしろくなかった。

・「二人の恋人 他2話」

(A) まず英語は良かった。キャラはマリと申します。第一のお話には、二人の恋人について

てだった。おもしろかった。他のでも、OK だけでした。(B) 全部の話は金の問題があるので、大へんだそうです。(E) とてもよかった。イソップの物語が好きだ。(F) この話はおもしろいけど、二番と三番の話はちょっと分かりにくい。

・「ヘンゼルとグレーテル」

(B) 両方悪い人を死ぬことがたぶんいいと思います。(C) こてんのむかしばなしです。あまりむずかしくないです。(G) こわいいものがたりだ。

・「老人の町」

(A) おもしろいですが、終わりませんでした。悪い夢と思います(そうぞうです)。(B) おもしろかったですが、ちょっと怖いんです。(D) もし未来は老人だけがいるかという話だ。おもしろかった。(E) サスペンスな話ですね...。(F) これはこわい。終りはちょっとわかりにくい。けいけんは、本当のゆめでした？(G) 本の最ごはすこし分からないけど、あの話は面白かった。

・「屁っこき嫁」

(A) 日本語の音の言葉があるから、私はこの本が大好きでした【大好きでした】。たとえば、バキバキッ、ドシーン。こども用だろうが、私が大好き。プップウウウッ。(C) おもしろいほんです。ユーマー【ユーモア】がある本です。おなら力があるおよめ。(D) 変な話...おかしかった。(F) うごくことに関して言葉がたくさんあるからいい復習だと思う。でも意味はもっと面白い。

【レベル3・初中級・N3 レベル】

・「よだかの星」

(A) 「失礼して、時にちょっと、払いました【読み飛ばしました】。「ぐるぐるぐる」とかそのような聞きやすいことはあるが、無だな昔話と思う。

・「梨とり兄弟」

(B) どうしておばあさんは三郎だけかたなをあげましたか。(E) いい昔話です

・「大男の話」

(A) お母さんよりとりほうが大切と思う大男について。お母さん死んだ後でちょっと...

・「小泉八雲の怖い話／ むじな／幽霊滝」

(G) とてもこわかった！

・「注文の多い料理店」

(D) ちょっと怖かった。犬が二人にたすけてあげたが、はじめに犬がしんだから。ちょっとわかりません。P.13

多読は多くの本を読むことが目的であるため、感想の量や内容については学生に指示は出していない。熱心に感想を書いてくれる学生や、最低限の単語だけで進む学生など書き方は様々である。特徴としては以下の①～③が挙げられる。

①日本語言及型

(A) 富士山やしんかんせんじどうはんばいきなどについて、適当な詞【数詞】を教えています。

(D) Level 0 だけどころらない言葉が多い。

(F) うごくことに関して言葉がたくさんあるからいい復習だと思う。でも意味はもっと面白い。

②内容説明型

(C) ゆうすけとロボットD太のにつきについてです。

(D) もし未来は老人だけがいるかという話だ。おもしろかった。

(G) しんかんせん

③内容言及型

(B) 両方悪い人を死ぬことがたぶんいいと思います。

(E) おもしろいストーリーだ。あくまが下水道にいるか？

短くはあるが感想の書き方を、「日本語言及型」、「内容説明型」、「内容言及型」という3つに類型でき、類型は日本語の学習傾向や伸びに関連があると思われる。

①に関しては、一般的な読書の時間ではなく、日本語の授業の一環であるという意識があるためであろう。この日本語に対する意識がある学生 A と学生 F は入学時との比較で他の学生よりも日本語の伸び率が高かった。②に関しては、感想というより内容を一言で表現したというものである。学生 C、学生 D₈、学生 G の感想はこの傾向にあり、日本語の伸びはやや鈍かった。③に関しては、結末や筋に関する突っ込み型である。話の筋がわかったうえで、あえて異を唱えているので、内容把握ができていると考えられる。普段の授業では、学生 B はトップダウン型、学生 E はボトムアップ型である。

感想が好意的な作品は、「おもしろい！日本のトイレ」や「屁っこき嫁」など、日本の昔話や、子どもの時に読んだことのない話であり、かつ日本語のレベルが易しいものである。これらの本は自らの日本語レベルで無理なく内容を理解でき、新情報も得られるなど、素直に楽しめたようだ。これに対し「シンデレラ」や「ジャックと豆の木」など、第一言

語で子供の頃に読んだことのある話に関しては、内容を知っているのでつまらない、第一言語と日本語との違いに注目した、内容がわかるから速く読めたと感想を述べていた。

粟野 (2012: 130-134) では、多読教材として一般書などを紹介している。大学生や大学院生に対しては、日本語のレベルの高低ではなく、オノマトペが多用されている本や数詞の使い方がわかる本などの日本語の勉強になると思える本、日本の文化や習慣、新情報を得られる本を多読教材として用いれば、学習者の読書意欲が高まり、学習効果も高いと考える。また、感想の書き方が日本語の学習傾向や伸びに関係があるとするならば、感想の書き方を指導することで読解方法の指導を行い、日本語学習をサポートできる可能性がある。この点については今後の研究課題である。

5 アンケート結果

夏期コースの多読の授業の最終日に、学生にアンケートを取った (資料 2 参照)。表 5 はその結果である。

表 5 アンケート結果

問	回答	合計
勉強以外で本を読みますか	よく読む	1
	読む	-
	あまり読まない	5
	ほとんど読まない	1
多読はどうでしたか	おもしろかった	3
	ちょっとおもしろかった	4
	ちょっとつまらなかった	-
	つまらなかった	-
以前、多読を授業でしたことがありますか	ない	6
	ある/いつ : the same time	1
	ある/どこで	-
多読の時間はどうでしたか	長い	1
	ちょうどいい	5
	短い	1
多読の内容はどうでしたか	おもしろい	3
	ややおもしろい	3
	ややつまらない	1

	つまらない	-
印象に残った話がありますか	ない	2
	ある ①日本の昔話です ②二つのレベル3の話だ ③日本語と私が子供の時にあったバージョンを比べることがとても面白かったと思います。 ④老人の町 ⑤日本一のトイレ、兄弟	
辞書をひいてはいけないという決まりはどうですか	大変	-
	やや大変	-
	問題ない	5
	大変だったが慣れた	2
多読のレベルはどうでしたか	簡単	1
	やや簡単	4
	レベルにあっていた	2
	やや難しい	-
	難しい	-
読書記録はどうですか ⁹	良い	3.5
	悪い	1.5
	面倒くさい	1
多読を授業でもっとやりたいですか	やりたい	6
	やりたくない	1
	自分でならやりたい	-
その他、多読について何か意見がありましたら、ぜひ書いてください。	① The Tadoku series is highly effective for fast reading grammars and vocabulary comprehension, however, the beginning levels(0-2) are dreadfully easy. If the graded readers are used in a future IUC course, the students should begin with level 3 and then progress to 4 and 5, if not actual newspaper articles.	
	②I would also like to have Reading times, the way we have conversation partner.	
	③授業でクラスメートと多読の本の内容を一緒に相談したほうが良いと思います。今、エクササイズがちょっとパッシブです。	

本アンケートで「勉強以外で本を読みますか」という項目を立てた。所見ではあるが、アメリカの大学院生は多量に本を読むが、課題図書以外には読まない、読む時間がない、読書に興味がない、という学生が多くなってきていると見受けられる。アンケート後、「あまり読まない」と答えた学生にその理由を聞いてみると、読書は好きだが普段は課題に追われて時間がないという答えが返ってきた。

多読という授業形態を経験したことのない学生が7名中6名であったが、授業内容についての評価は好意的だったといえる。IUCの授業では予習は必須であり、読解の授業には語彙の小テストもあるが、多読では予習は不要であり、意見を戦わせる必要もなく、読む速さも学生本人に任せられ、試験もないというプレッシャーのかからない学習時間である。だが、日本語で書かれ、日本に関係のあるものがほとんどであるため、日本語学習から外れてはいないという意識もある。また内容が面白かったのも、多読に対する好意的な意見に繋がったのであろう。

学生にとって最も困難だったのは、辞書を引いてはいけないという規則だったようだ。日本語学習では基本的に内容を正確に把握することを求められるため、予習の段階でわからない語彙や表現などは調べてくる。授業中にわからない語彙が出てきた場合は、その場で辞書を引くか、教師に質問するという行動が身につけている学生が多いため、違和感があったようだ。しかし、IUCには研究者志望の学生が多く、その場で一次資料が有用であるかを即座に判断しなければならない場合もある。多読によって日本語での推測力を養っておくことも必要であろう。

最後に多読全般についての意見を聞いたところ、3名の学生がコメントを記入してくれた。意見①は日本語のレベルが低いというものであったが、低いレベルから読むという多読の規則があるため、当然の意見である。だが、4の読書時間の推移や、「やや簡単」と回答した学生が4名いること、初中級・中級前半レベルのクラスであること、やさしいものから読み、読む楽しさを味わうという読書方法であることからすれば、レベルは妥当だったのではないかと思われる。多読の時間を増やせば、教材の日本語のレベルは上がって行くため、不満は解消できるだろう。意見②と③はクラスメートとの意見交換の時間を希望していた。多読の目的はあくまで読むことであり、話すことではないので授業内では極力意見交換をさせなかったが、意見交換をしたいというのは本が興味深かったことの表れでもある。他人の感想を聞くことで興味がわき、次にその本を読みたくなるという好循環を生み出せるならば、短い時間で構わないので、授業内で取り入れても良いだろう。この点については今後の参考にしたい。

6 まとめ

アメリカ・カナダ大学連合日本研究センターの2016-17年度夏期コースの夏鳥クラスに

において多読を行った。アンケート調査から、学習者は多読の時間を楽しんでいたことがわかる。初中級・中級前半の学生に対し、レベル0からレベル3までの教材を利用した。レベル0の教材であっても、日本の昔話などは大学生・大学院生の日本語学習者に好評であった。また、「日本語言及型」、「内容説明型」、「内容言及型」という読書記録の記入の仕方は、日本語の学習傾向や伸びに関連があると思われることも興味深い。この関連性を利用すれば、多読の読書記録により学習者の日本語力のサポートができる可能性がある。以上の結果を踏まえると、大学生・大学院生においても多読という学習方法は効果的であると考えられる。

今後は読書記録の改善や、教材の再考、読後のブックトークの時間を取るなど、大学生・大学院生の知的好奇心を満足させられる授業設計を行うべきであろう。

謝辞

ミドルベリー大学日本語夏学校の校長である畑佐一味教授には、ミドルベリー日本語夏学校において多読を体験する機会をいただき、本実践報告を執筆するに至りました。この場をお借りして御礼申し上げます。

注

- 1 速読の訓練を行うための *spreader* というプログラムも開発されている。*Spreader* ホームページ参照。<https://www.spreader.com/> (2018.7.23 アクセス)
- 2 NPO 多言語多読ホームページ参照。<https://tadoku.org/teachers/t-about> (2018.7.23 アクセス)
- 3 秋澤 (2017: 289) には「NPO 法人多言語多読監修『レベル別日本語多読ライブラリー (にほんご よむよむ文庫)』を用い、速読の練習も行った。」とあるが、読解速度を速めるための「速読」の練習ではない。
- 4 ミドルベリー日本語夏学校については、結城 (2017) 参照。
https://www.iucjapan.org/html/nenpou_j.html (2018.7.19 アクセス)
- 5 本についての感想をお互いに言うこと。
- 6 にほんご多読ブックスホームページ参照。
https://www.taishukan.co.jp/item/nihongo_tadoku/ (2018.7.23 アクセス)
- 7 にほんごよむよむ文庫ホームページ参照。
<http://www.ask-books.com/tadoku/jp/> (2018.7.23 アクセス)
- 8 ただし、学生 D については文法の伸びは高かった。
- 9 「良い／悪い」の両方に印をつけていた学生 1 名は、各 0.5 としている。また、未記入

の学生が1名いた。

参考文献

- 秋澤委太郎 (2017) [「2017年度夏期コース報告」](#) 『日本研究センター教育研究年報』第6号、pp.285-291
- 栗野真紀子・川本かず子・松田緑編者 (2012) 『日本語教師のための多読授業入門』アスク
- NPO 法人多言語多読監修 (2016) 『にほんご多読ボックス』大修館書店
- NPO 法人多言語多読監修 (2006) 『にほんごよむよむ文庫 レベル別日本語多読ライブラリー』アスク出版
- 片山智子 (2015) 「日本語で「多読」を楽しむ ―自分の「読み」を表現する授業―」 『日本語教育方法研究会』 vol.22、No.1、pp.52-53
- 佐々木良造 (2017) 「授業内多読活動に関する自己評価の分析」 『日本語教育方法研究会』 vol.23、No.2、pp.40-41
- 鄭聖美・高橋純子 (2014) 「中級前半レベルの学習者の読みへの取り組み ―アンケート調査から―」 『日本語教育方法研究会』 vol.21、No.1、pp.18-19
- 松井咲子・三上京子・金山泰子 (2012) 「初級・中級日本語コースにおける多読授業の実践報告」 『ICU 日本語教育研究』9、国際基督教大学日本語教育研究センター、pp.47-59
- 水野邦太郎・川北直子・東矢光代・西納春雄 (2011) 「プロジェクト IRC ―多読の授業における互恵的な読書環境の創出―」 『外国語教育メディア学会機関誌』 48(0)、pp.143-171
- 結城佐織 (2017) [「ミドルベリー大学日本語夏学校『茶道クラブ』と日本研究センターレギュラーコース『茶道クラブ』」](#) 『日本研究センター教育研究年報』第6号、pp.53-67

読書記録(どくしよきろく)

NO.
名前

No.	月/日	本の名前	時間	どこまで	面白さ	感想(かんそう)
例	6/28	かちかちやま	20分	パス・完読	★★★★☆	はじめはおもしろいと思った。でもむずかしかったの で、全部読まなかった。
1				パス・完読	☆☆☆☆☆	
2				パス・完読	☆☆☆☆☆	
3				パス・完読	☆☆☆☆☆	
4				パス・完読	☆☆☆☆☆	
5				パス・完読	☆☆☆☆☆	
6				パス・完読	☆☆☆☆☆	
7				パス・完読	☆☆☆☆☆	
8				パス・完読	☆☆☆☆☆	
9				パス・完読	☆☆☆☆☆	
10				パス・完読	☆☆☆☆☆	

【資料 1】

【資料 2】

多読に関するアンケート

このアンケートは、授業や研究に使う以外の目的には使用しません。また、公開する場合は、氏名などはイニシャルにして公開させていただきます。

ご協力お願いいたします。

2017.8.2 結城佐織

- ・ 勉強以外で本を読みますか。

よく読む・読む・あまり読まない・ほとんど読まない

- ・ 多読はどうでしたか

おもしろかった・ちょっとおもしろかった・

ちょっとつまらなかった・つまらなかった

- ・ 以前、多読を授業でしたことがありますか。

ない

ある いつ _____

どこで _____

- ・ 多読の時間はどうでしたか

長い・ちょうどいい・短い

- ・ 多読の本の内容はどうでしたか

おもしろい・ややおもしろい・ややつまらない・つまらない

- ・ 印象に残った話がありますか

ない

ある

- ・ 辞書をひいてはいけないという決まりはどうですか

大変・やや大変・問題ない・大変だったが慣れた

- ・ 多読の本のレベルはどうでしたか

簡単・やや簡単・レベルにあっていた・やや難しい・難しい

- ・ 読書記録はどうですか

良い・悪い・面倒くさい

- ・ 多読を授業でもっとやりたいと思いますか

やりたい・やりたくない・自分でならやりたい

- ・ その他、多読について何か意見がありましたら、ぜひ書いて下さい。

* 多読の授業内容に関すること（アンケート、写真など）は、研究のために公開することがあります。公開可能の方はサインをお願いします。
